

国連 ESCAP Legal/Technical WG 会議報告

2017年3月20日～月24日

バンコク（タイ）

報告者：国連 CEFACT 日本委員会
一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会
菅又 久直

I. 会議日程：

- 3月20日（月） 東京発 バンコク着
- 3月21日（火） Legal/Technical WG 会議
- 3月22日（水） Legal/Technical WG 会議
- 3月23日（木） 中間政府間運営グループ会議
- 3月24日（金） バンコク発 東京

II. 会議参加の目的：

国連CEFACT日本委員会・サプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）の国際連携活動の一環として、国連ESCAPが主催するアジア太平洋貿易円滑化フレームワーク協定

（Framework Agreement on Facilitation of Cross-Border Paperless Trade in Asia and the Pacific、以降フレームワーク協定と記載）推進のための、法制度・技術作業グループ会議（LTWG: Legal and Technology Working Group、以降LTWGと記載）に、UNNExT アドバイザリの一員として参加した。

なお今回の開催場所はバンコクの国連会議センター（UNCC）で、小生の渡航費用（航空賃および宿泊費）は国連ESCAPが負担した。

III. LTWG 会議：

フレームワーク協定は、2016年5月4日に国連 ESCAP コミッションにて合意決議され（Resolution 72/4）、国連法務局（UN Office of Legal Affairs）におくられた後、10月10日より各国の調印が開始されることとなった。調印期間は2017年9月30日までで、5か国以上の調印により発効されることになる。なお、2017年3月23日現在、調印済の国はまだ無い。

LTWG は、フレームワーク協定の草案検討時点から作業グループとして協力しており、昨年5月にフレームワーク協定文案は確定したことから、調印予定各国における当該協定の実施ロードマップを検討するのが現時点の役目となっている。

今回の LTWG 会議は、UNNExT アドバイザリーメンバーに調印検討国の担当者を交えて、実施ロードマップ案全般の意見交換が行われた。

UNNExT アドバイザリーメンバーの参加者は以下の通り。

Mr. Luca Castellani	UNCITRAL
Mr. Sung Heun Ha	韓国 (KTNET)
Mr. Tahseen Khan	インド (国連 CEFACT 副議長)
Ms. Mee Wan Wong	マレーシア (元 DAGANNET)
Mr. Hisanao Sugamata	日本 (国連 CEFACT 日本委員会)
Ms. Hong Xue	中国 (北京師範大学)
Mr. Sergey A. Kiryushkin	ロシア (電話会議で参加)

LTWG 参加の国々は以下の通り (19 か国)。

中国、インドネシア、イラン、モルジブ、マレーシア、パキスタン、フィリピン、パプア・ニューギニア、タイ、アゼルバイジャン、ブータン、カンボジア、ラオス、韓国、ロシア、ウズベキスタン、バングラデッシュ、東チモール、ベトナム

<技術的検討グループの審議>

(1) 技術ギャップチェックリスト (Mee Wan Wong)

貿易円滑化電子化推進レベルを把握するためのチェックリストを整備中である。チェック項目は次の分野をカバーする。

- ・ 貿易円滑化推進組織
- ・ 自動化の度合い
- ・ ICT 基盤整備
- ・ セキュリティ
- ・ ビジネスプロセス改革 (BPR)
- ・ 情報項目の整合化
- ・ 人材育成
- ・ IT リテラシー

(2) 国際標準導入戦略 (菅又)

国際標準およびガイドラインの適用戦略について、次の事項につきまとめた。

- ・ 国際標準と適用レイヤー
- ・ 考慮すべき国際標準とガイドライン一覧
- ・ 国際標準への適合性
- ・ 国際標準化組織

(3) 貿易円滑化リファレンスマップ (Sung Heun Ha)

貿易円滑化システムで取り扱うプロセス (Buy-Ship-Pay) と文書、および標準との関連一覧を作成しつつある。

上記3テーマは相互に関連するものであり、「技術チェックリスト」「国際標準戦略」「リファレンスマップ」は、項目ごとに関連づけを行う必要があることが認識された。

(4) セキュリティ相互承認 (Sergey A. Kiryushkin)

ロシアの専門家より PKI に基づく TTE (Transboundary Trust Environment) の構築につき、昨年に引き続き提案が行われた。TTE は、一昨年より国連 CEFACT へも提言しているが、技術・制度・手法が混在したガイドになっており、勧告として推奨できる状況にはなっていない。また、ロシアの国代表者より、当提案は 1 専門家の提言であり、ロシアとしてサポートしているものではないとの発言がなされた。

IV. IISG :

LTWG の引き続き、貿易円滑化のための政府間運営グループ中間会議 (IISG: The Interim Intergovernmental Steering Group on Cross-Border Paperless Trade Facilitation、以降 IISG と記載) が開催された。本会議は、フレームワーク協定に関心のある国の政府代表者会議であり、当職はオブザーバー (UNNEXT アドバイザリーメンバー) として会議を拝聴した。

参加国した 25 か国は次の通り。

アルメニア、アゼルバイジャン、バングラディッシュ、ブータン、カンボジア、中国、フランス、インド、インドネシア、キルギスタン、ラオス、モルジブ、モンゴル、ミャンマー、パキスタン、パプア・ニューギニア、フィリピン、韓国、サモア、ロシア、スリランカ、タイ、東チモール、ウズベキスタン、ベトナム

(1) フレームワーク協定参加検討状況

出席各国より協定への参加準備状況についての説明が行われた。

各国の発表内容より、当職が判断した (個人的見解です) 参加可能性 (期限の 2017 年 9 月 30 日までに調印が可能と思われる国) は次の通り。

* 期限までに調印の可能性が高いと思われる国 :

バングラディッシュ、中国、イラン

* 積極的だが期限までの調印はスケジュール的に半々と思われる国 :

インドネシア、パキスタン、ロシア、韓国

なお、フレームワーク協定の発効には、2017 年 9 月 30 日までに 5 か国の調印が必要であり、現状では当該協定の発効は予断を許さない状況と言える。

(注) 日本は当該協定については、検討当初より積極的ではなく、今回の IISG にも出席していない。

(2) フレームワーク協定調印式計画

国連 ESCAP 事務局は、フレームワーク協定調印促進のため、各国へのコンサルティング等、積極的な働きかけを行っている。

当該働きかけの一環と思えるフレームワーク協定調印式計画が事務局より提案された。

協定調印式日程：8月最終週

協定調印式の場所：バンコク

当調印式計画は、IISGにて合意された。

以上